

公明党の訴えを受け 具体化された主な施策

感染防止策と医療提供体制の整備

- ・マスク増産支援、医療機関などへの優先配布
- ・PCR 検査の保険適用と自己負担分の全額公費助成
- ・迅速ウイルス検出機器の 3 月中の利用開始方針
- ・帰国者・接触者相談センターの全国展開と 24 時間化

中小企業・小規模事業者の支援

- ・1.6 兆円規模の手厚い資金繰り支援
- ・実質的に無利子・無担保の特別貸付制度を創設
- ・旅館や飲食店などへの特別貸付を実施
- ・雇用調整助成金の特例措置を大幅拡充

学校休校に伴う対応

- ・非正規雇用やフリーランスも含めた休業補償
- ・最大20万円を融資する個人向け緊急小口資金の特例を創設、償還免除の場合も(右側の表1参照。3/25から開始)
- ・放課後児童クラブに対する追加経費の全額補助
- ・給食停止に伴う食品業者や酪農家などへの支援
- ・自宅などで過ごす子ども向けの読書サイトが開設
- ・休校により発生した未利用食品を提供するフードバンク事業への配送費支援

休校中の子ども向けの読書サイト

文部科学省が開設。
子供の読書キャンペーン
～きみの一冊を探そう～



鈴木大地スポーツ庁長官、作家の童門冬二氏、タレントの佐藤弘道氏ら著名人が子どもへのメッセージとともに読んでもらいたい1冊を挙げている。



(表1) 生活福祉資金貸付制度の特例の概要

緊急小口資金		総合支援資金(生活支援費)	
対象者	一時的な資金が必要な世帯 (主に休業した人向け)	生活の立て直しが必要な世帯 (主に失業した人向け)	
貸付上限	● 個人事業主や、学校休校の影響を受けた世帯 ▶ 20万円 ● その他の世帯 ▶ 10万円	● 2人以上の世帯 ▶ 月20万円 ● 単身 ▶ 月15万円 ※貸付期間は原則3カ月以内	
償還期限	2年以内	10年以内	
据置期間	1年以内		
貸付利子	無利子		
申し込み先 → 市区町村の社会福祉協議会			

事態の変化に対応した措置など

- ・確定申告や運転免許証更新など行政手続きの延長(画像3)
- ・介護給付費の請求期限などの柔軟な対応
- ・テレワークや時差出勤の普及推進

その他(武漢市滞在の日本人への対応)

- ・中国側の協力を得て、武漢市に滞在する自国民の帰国をいち早く実現(政府に対しての要望)
- ・武漢市滞在の日本人約500人を帰国させる政府チャーター機の費用を、国が負担をするよう政府へ要請

手続きなどの変更 主な内容

- 確定申告** 4月16日まで期限延長
※自治体によっては住民税申告期限も延長
- 運転免許** 更新期限が3月13～31日の場合、申し出により3カ月延長
- 車検証** 有効期間満了が2月28～3月31日の場合、4月30日まで延長
- 引っ越し** 郵便による転出届提出と転出証明書受け取りを呼び掛け
- 医療** 持病がある人を電話や情報通信機器で診療し、薬を処方